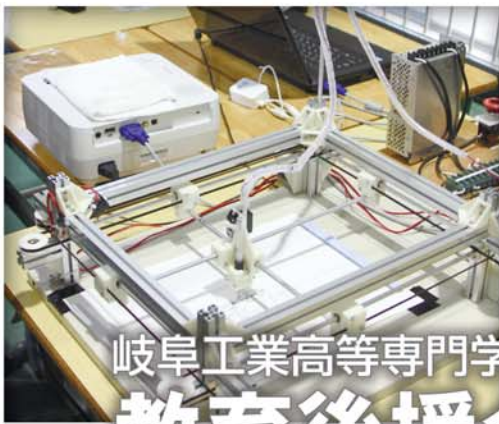




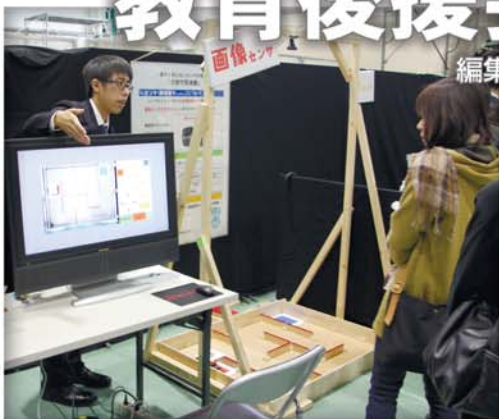
岐阜工業高等専門学校

教育後援会通信

第33号

平成29年12月15日発行

編集：教育後援会事務局



あから



2017年10月28・29日
第53回高専祭



地区懇談会に参加して



教育後援会副会長

大野

悟

11月11日岐阜地区保護者懇談会に教育後援会代表として参加させていただきました。多数の保護者の皆様、ご参加いただきありがとうございました。

地区保護者懇談会は、保護者間の懇談が目的ですが、先生方とも懇談が出来、授業関係・クラブ関係・進路関係（就職、進学）など子供たちの様々な情報を知ることが出来ます。更に、日頃不安や疑問に思っていることを上級生の保護者の方や先生方と共有することもでき、悩み事も解消出来ると思います。

激しい変化の時代には、将来を見据えた人材育成が求められ、多様な地域で、様々な人々と一緒に仕事をしていくための、グローバルな人材が求められています。

岐阜高専は、グローバルな人材を育成する為に最も適した環境です。

素晴らしい環境で子供たちを育てていく為には、学校・保護者で問題認識・課題等について共有し、取り組むことができる関係を築いておくことが重要だと思います。

今後も、子供たちと学校発展のために教育後援会の活動に御協力をお願い申し上げます。

教育後援会保護者見学会に参加して

専攻科 保 護 者

過去5年間は、仕事の都合を合わせる事ができず、参加したいと思いながら参加できずにいました。今回、息子が専攻科に入学したおかげで、6回目のチャンスを頂き、仕事の都合つけて参加することができました。

初めて参加してみると、校長先生をはじめ、諸先生方の話を聞くことができたり、保護者の皆様と情報交換をすることができたりと、参加して本当によかったなと思う研修会でした。特に、校長先生が英断された寮改革については、真意をお聞きすることができ、行き過ぎた先輩による指導を解消できたことは、寮生の親として安心できるものでした。本田技研工場での見学も、個人ではなかなか見ることができないものを見学することができ、楽しませて頂くことができました。素敵な研修会の企画・運営にご尽力いただいた役員の皆様に感謝いたします。来年も是非参加したいと思います。

保護者見学会に参加して 「モノづくりの姿勢」

保護者 5D 棚瀬 好 久

今回、本田技研工業(株)鈴鹿製作所へ工場見学に行ってきた。また後援会役員を5年目にして初めての参加となりました。先に昼食会として三重県松阪市での焼肉バイキングをいただきながら他の地区の保護者の方とお話しができて満足なランチタイムでした。そして兼ねてより楽しみにしていました本田技研工業内の工場を拝見しましたが、製造業の基本である安全を確保し無駄を極力抑え高品質な物を短時間で作り上げて行く姿勢が見受けられ、説明された女性の話の中で「カイゼン」「ジャストインタイム」と言ったモノづくりに使われる用語が使われていたのが印象的でした。行き帰り道中の先生方のお話は高専生活の状況が把握出来き、同時に伊藤校長の岐阜高専のより良い学校にしていって熱意が感じられました。そして今回のイベントを企画、進行して頂いた先生方、役員の皆様に感謝いたします。最後に、これからも常に変わり行く時代に対応出来る付加価値の高い人となる生徒達を輩出し岐阜高専の未来が永遠に輝きます様に。

教育後援会保護者見学会に参加して

5年生 保 護 者

今年の保護者見学会は、7月6日(木) 暑さ厳しい早朝よりバス3台による大勢の参加となりました。私は今回で4回目の参加であり、学年学科をこえた保護者間の交流や、お楽しみの食事会、毎回とても勉強になる企業見学を楽しみにしていました。いつものことですが、教育後援会事務局の方々には、企画から準備まで大変なご苦労を賜りまして誠にありがとうございました。移動中のバスでは、校長先生・副校長先生・各学科の先生方から話があり、学校の現状や取り組み、学生たちの状況(進学・就職・進級)について報告がありました。保護者側からも自己紹介をした後、子供についての悩みや質問がたくさんでした。保護者の質問に対しては、先生方が丁寧に回答してくださり、大変有意義な時間となりました。お楽しみの食事会は焼肉バイキングで、初めての方とも食事をしながら気軽に話をする事ができ、食事もおしゃべりも楽しむことができました。企業見学先の本田技研鈴鹿製作所では、見学に必要なインカムを渡され、説明を聞きながら人気車種の生産ラインを見学しました。車の製造ラインの中では、特に組み立てロボットの動きに感動しました。本田では、お土産に本田オリジナルキャップもいただき旅の良い思い出となりました。限られた字数の中では、ご紹介できない良い思い出が多々あります。最後に保護者の方々は、このような行事に積極的に参加されることをお勧めします。

ハロウィンの怪人、保護者見学会へ行く

2年生 保 護 者

駅前駐車場へ辿り着くと、校長先生と所先生がいらしたのでご挨拶。3号車内の自己紹介タイムは「この方が息子と仲が良い〇〇君の親御さんか」等、興味深く傾聴しました。親の悩みや心配はほぼ共通ですね。先生方からは、昨今では大学院入試より大学編入試験の方が難しいことなど、これまた興味深い話を沢山伺えました。因みに30年前は「大卒と同じ扱い」と言われ9割方が就職しましたが、仕事は同じでも特に給与で大卒に差を付けられてしまうのが現実でした。休憩のサービスエリアに到着すると、私は驚愕しました。1号車のバスガイドさんが可愛いのです!(3号車のバスガイドさんが可愛くないとは言っていない) しまった、高専から乗車すれば良かった、と思いましたが後の祭りです。バスに戻ると校長先生方は1号車へ移られていました。しまった、ドサクサに紛れてついて行けば良かった、と思いましたがこれも後の祭りです。昼食の焼肉は「見学の後ならビールを飲めるのに」等とボヤくけしからんお父さんがいましたが、私も全くの同感でした。とは言え酒抜きでも、同卓の皆さんと楽しく歓談できました。酒があればもっと(以下自粛)。

来年も是非参加したい所存です。決してバスガイドさん目当てではありません。

専攻科保護者から見た地区懇談会

専攻科 保護者

専攻科一年の保護者です。先日の地区懇談会では、一つ上の専攻科二年のお母さん方から、就職活動のことや、海外インターンシップのお話、学会発表のことなどが聞けて、大変有意義でした。

高専は普通科の高校と授業内容も違いますし、制服が無かったり、留年や仮進級が結構な割合であったりと、本科入学当時は、不安要素でいっぱいでした。そんな中、この地区懇談会で先輩の親さん方からお話が聞けたのはとてもありがたかったです。就職が編入かを三年生くらいから考え始めなきゃいけないんだとか、高専の子は英語がちょっと弱いらしいとか、我が子からだけでは得られなかった情報を地区懇談会で得ることができた気がします。自分は地区委員だったこともあって毎年参加させてもらっていたのですが、学年が上がるにつれて参加が減ってしまうので、後輩の親さんたちの情報収集の場の提供という意味で非常に残念に思います。

本科入学時、普通科の高校と違う部分が多く、また、より広域から学生さんが集まってくることもあり知り合いも少なく、不安に思われる親さんはたくさんみえると思います。入学時にもっと他の親さんたちと繋がる機会があったら、親同士の情報交換ができて、不安が多少払拭されるのでは…。また、高専は、特に機械・電気系の三科には女子が少ないです。我が子の科にはゼロでしたし、今専攻科でも一年生はゼロです。理系女がもてはやされて久しい今、興味がある女子も少なくないと思うのですが、啓発が足りないのでは…。本科で過ごした五年間も、その後の専攻科でも、我が子はとても充実した楽しい日々を送らせていただいていますし、教育レベルも高く、設備も、機会も、恵まれた環境が用意されている素晴らしい学校だと思っています。ですから、その良さを十分世間に知らしめ、是非女性も増えて欲しいなあと思います。それはおそらく、男子の学生たちのモチベーションの向上にも繋がることと思います。…という楽しいお話を、一つ上のお母さん方とさせていただきます。今回専攻科一年の参加は自分だけでしたので、来年一人だったらどうしようと些が不安です。情報も得られますし、先生方も優しく話を聞いてくださいますし、知らなかった親さんとコミュニケーションが取れると、心が和みます。来年は参加者が増えることを切に願っています。

地区懇談会に参加して

3年生 保護者

11月18日、娘が建築学科に入学して3回目の地区保護者懇談会に参加させて頂きました。改めて先生方、教育後援会の皆様の日頃のご尽力に頭が下がる思いです。ありがとうございます。普通科高校に進学すると思っていた娘が、突然高専の建築学科に行きたいと言って驚いたのも、昨日のここのように思えます。月日の流れは早いもので、今では3年生となって専門科目の勉強や部活にと充実した毎日を送っています。親としては、毎年開催されるこの地区懇談会は、子供たちの学校での様子や、先生方の授業や研究の取り組み、また進学や就職に関する情報など、上級生の方のお話も交えて家で子供からだけでは聞けないお話をたくさん得ることができ、毎年大変ありがたく思っております。

来年は娘も4年生となり、いよいよ進路について考える時期です。こういった懇談会に今後も参加させて頂き、指針にさせて頂きたいと思います。よろしく願いいたします。

地区懇談会に参加して

5年生 保護者

最初に主人が参加して、2年目以降は私が参加しています。

全体でのお話の後、各学科ごとに分かれて、先生から科の勉強の内容や、生徒が将来どんな進路に進んでいくのか又それに向けての心構えなど、わかり易く説明をしていただきました。その後、保護者から質問等に答えていただく形で進行していきました。息子から学校の情報が、なかなか得られないので、懇談会に参加することによって、岐阜高専のことがこの5年間でよくわかりました。毎回思いますが、学校の事を説明していただく先生にとっても感謝しております。私と同じく参加して、悩みがスッキリして帰っていく保護者さんの姿を見て「もっと多くの保護者さんが出席すると良いな」と思いました。

担当の先生をはじめ、役員の皆様お疲れ様でした。



海外インターンシップ報告

先端融合開発専攻1年 藤井 耀 午

私はインドネシアのバンドン工科大学のAswin研究室にて3週間の実習を行いました。実習内容は、大学内にあるWest and East Great Hallという歴史的な建物についての調査を行い、レポートを作成するというものでした。Aswin先生による建物のガイドや、現地の学生との実測調査などを通して、英語でのコミュニケーション能力が身につきました。昼休みや放課後には、研究室の学生たちが近くのレストランに連れて行ってくれ、さまざまなインドネシア料理を堪能しました。休日には、現地の学生たちと共にバンドン市内の観光や大学近くの動物園、ショッピングセンターなどへ行き、日本ではなかなか見かけることのない建築様式や伝統衣装、動植物などを見ることができました。

今回は初の海外経験でしたが、現地での生活はとても刺激的で、自分にとって非常に大きな経験となり、一生忘れることのない思い出となりました。



先端融合開発専攻1年 丹羽 雅也

私は、イギリス北東部のダラム州にあるTYK Limitedにて3週間の実習をさせていただきました。主に耐火物製品を製造する工場で、品質管理や製品の梱包作業を行いました。工場には日本人スタッフが4名働いていらっしゃり、私たちの実習のサポートや、休日のお世話などをしていただきました。工場内でのほとんどの作業は、イギリス人従業員の方の指示に従って行いました。英語でのコミュニケーションは、訛りも少々あるせいか、最初は苦戦していました。それでも積極的に会話に参加したり、話しかけていくことで徐々に慣れていき、楽しく会話ができるようになりました。休日には観光にも連れて行ってもらい、多くの観光地に行くことができました。イギリスでの生活は、毎日が新しい発見や、驚きの連続で、大変素晴らしい経験をすることができました。このような機会を与えてくださった関係者の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。



先端融合開発専攻1年 岩田 鉄平

私は、ドイツのハノーファー大学で約3週間の実習を行ってきました。実習では現地の学生と一緒にセミナーに参加しました。また、温度計を使った簡単な実験なども行いました。休日には、ハノーファー大学の学生が様々な場所に連れて行ってくれました。

日常会話はドイツ語が使われていましたが、授業は英語を使って行われていたため、学内では英語が通じていました。しかし、街に出ると英語が通じない人が多く、コミュニケーションに苦労しました。最初は不安で胸がいっぱいでしたが、とても充実した3週間を過ごすことができました。このような貴重な機会を与えてくださったハノーファー大学のグロス教授、並びにその関係者の皆様に感謝申し上げます。



海外インターンシップ報告

先端融合開発専攻1年 市橋 大樹

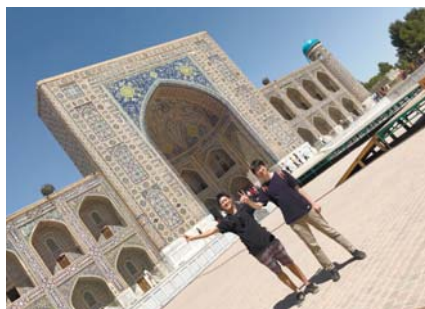
私はマレーシアのジョホールバルにあるマレーシア工科大学(Universiti Teknologi Malaysia)にて3週間のインターンシップに行ってきました。マレーシアは大きくマレー系、中華系、インド系の3つの民族がいる多民族国家です。それぞれの、民族が異なった宗教を持ち、食事などの面ではそれぞれが混じり合いマレーシア独特の文化を形成しています。現地の人のほとんどが英語を話せることも幸いして、色んなことにチャレンジする機会がありました。特に今回は、首都のクアラルンプールや、歴史が色濃く残るマラッカなどにも足を延ばし、様々な体験をすることができました。

今回のインターンシップでは、英語でのコミュニケーションについて思っていた以上にできたと感じました。同時に「もっと自由に使いこなせれば!」と感じる場面もたくさんありました。今後も、この気持ちを忘れずに自分の世界をもっと広げていきたいです。



先端融合開発専攻1年 三川 雅和

私たちは、中央アジアに位置するウズベキスタンにあるトリノ工科大学タシュケント校で3週間の実習を行ってきました。渡航前から、治安や社会情勢、言葉の壁や文化の違いなど不安な点が多くありましたが、向こうで実習を行っていくうちにこれらの不安は完全に無くなりました。実習に食事、寮生活など身の回りの様々なことに現地の方々が配慮してくださり、とても充実した3週間を過ごすことができました。実習では慣れない英語でのやり取りに苦戦することもありましたが、これまでの英語学習やジェスチャーを使って意思の疎通を図ることができました。また、放課後や休日には様々なところへ連れて行ってもらい、ウズベキスタンの文化や伝統など魅力的な部分を感じることができました。これらの経験は私たちのこれからの役に立つとても貴重なものになりました。このような貴重な機会を設けてくださった関係者の方々に深く感謝申し上げます。



先端融合開発専攻1年 藤澤 功

私は今夏海外インターンシップとして、アメリカのアイオワ大学へ向かいました。3週間の間ですが、現地では多くのことを学ぶことができました。アメリカの風土や文化を体験するだけでなく、現地の学生の熱心さなど、心打たれる経験でした。アイオワ大学は豊富で壮観な施設と、街が融合した広々としたキャンパスであり、気持ちよく生活することができました。この経験をもとに、今後も尽力していきたいと思います。また、このインターンシップのために支援してくださった教育委員会をはじめ、尽力してくださった皆様に感謝致します。



行事予定

◆教育後援会行事予定

平成30年 4月15日(日)	教育後援会役員会 10時30分～(平成29年度役員)
5月19日(土)	教育後援会総会 13時30分～

◆主な学校行事予定

1月 8日(月)	冬季休業終、開寮 13:00
9日(火)	開講
10日(水)	補講・補習(1・2年)平常授業(3～5年)
11日(木)	補講・補習(1～4年)月曜授業(5年・専攻科) 国立高等専門学校学習到達度試験(3年:数学、物理、、午後平常授業)
12日(金)	寮生成人祝賀会
13日(土)	寮生スキー研修
21日(日)	第51回吹奏楽部定期演奏会(本巣市民文化ホール)
27日(土)～28日(日)	全国高専英語プレゼンテーションコンテスト(東京)(主管:弓削)
31日(水)	補講・補習(5年・専攻科)
2月 2日(金)	補講・補習(1～3年)平常授業(4年)
2日(金)～7日(水)	後期期末試験(専攻科)
2日(金)～8日(木)	後期期末試験(5年)
6日(火)	補講・補習(1～3年)平常授業(4年)
7日(水)	補講・補習(1～4年)
8日(木)	補講・補習(1～3年)平常授業(4年)
8日(木)～16日(金)	平常授業(専攻科)
9日(金)	補講・補習(1～4年)
9日(金)～16日(金)	平常授業(5年)
13日(火)～21日(水)	後期期末試験(1～4年)
15日(木)	補講・補習(専攻科)
16日(金)	大掃除(1・2年)月曜授業(5年・専攻科)
19日(月)	休講
20日(火)～28日(水)	特別研究補講(専攻科)
22日(木)	(授業終了後)校長講話、副校長訓話、学生会総会
22日(木)～28日(水)	平常授業(1～4年)
28日(水)	(授業終了後)大掃除、学級指導
3月 1日(木)	寮生部屋替
1日(木)～19日(月)	休講
2日(金)	閉寮 14:00
20日(火)	第51回卒業式(本科)、第22回修了式(専攻科)、閉講
21日(水)	学年末休業始
31日(土)	学年末休業終、後期終、学年終

発行:岐阜工業高等専門学校・教育後援会事務局

〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236-2 TEL.058-323-8752

FAX.058-322-6571

E-mail gnctk@iaa.itkeeper.ne.jp